

# 2017年度 事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

# I. 法 人 事 業

## 1. 組織運営

### 1) 理事会

	日 程	内 容
第 57 回	5月21日	2016 年度 事業報告・決算、定期総会招集、会費の改定
第 58 回	7月8日	理事長・副理事長の互選
第 59 回	11月26日	2017 年度 第一次補正予算、就業規則等改定
第 60 回	3月31日	2017 年度 第二次補正予算、第4期中期計画 2018 年度 事業計画・予算、給与規定改定

### 2) 評議員会

評議員は定期総会で選出し、理事会の諮問機関の役割を担うものとして、年3回開催した。

	日 程	内 容
第 15 回	5月21日	2016 年度 事業報告・決算、会費の改定
第 16 回	11月26日	2017 年度 事業経過報告
第 17 回	3月31日	2018 年度 事業計画・予算、第4期中期計画

### 3) 事務局

- (1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。
- ① 4月～6月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出
  - ② 5月：南大谷クラブ 指定管理者再選定
  - ③ 6月：定期総会を開催。町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
  - ④ 8月：全クラブ利用者アンケートの集計作業を行う。
  - ⑤ 理事会および評議員会の議案を作成し、運営を行う。
  - ⑥ 特別保育の利用料徴収業務を行う。
  - ⑦ 関係諸機関・団体との連携を図る。
- (2) 事務局会議を毎月開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行う。

	内 容
4月	くれよんキッズ春企画報告、職員配置、各クラブの状況報告
5月	南大谷クラブ指定管理者再選定、夏期アルバイト、第4期中期計画
6月	施設長会議報告、利用者アンケート、運営委員会の内容確認
7月	苦情解決第三者委員、利用者アンケート、第4期中期計画
8月	おやつ賞味期限の事故報告、南大谷プレゼン報告、利用者アンケート
9月	利用者アンケート報告、人事委員会報告、メンタルヘルス報告 利用者アンケート報告、2016 年度モニタリング評価 運営委員会の内容確認
11月	施設長会議報告、利用者アンケート回答、第4期中期計画

12月	12月市議会報告、2018年度事業計画、第4期中期計画
1月	特別保育未納状況報告、2018年度事業計画、第4期中期計画
2月	メンタルヘルス報告、定数協議、2018年度事業計画、第4期中期計画
3月	施設長会議報告、労働契約、2018年度事業計画、第4期中期計画

#### 4) 委員会活動

##### (1) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。

	内 容
8月	各クラブの報告、2018年度正規職員募集、昇級試験について
10月	2018年度 第1回正規職員選考
11月	2018年度 第2回正規職員選考、昇級試験
12月	2018年度 第2回正規職員選考、昇級試験
1月	2018年度 第3回正規職員選考
2月	2018年度 第3回正規職員選考、2018年度職員配置決定

##### (2) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③第4期中期計画の検討を目的とし、2017年度より再開した。

	内 容
7月	新任職員の報告、職員によるプロジェクト等の報告、大規模化問題に関する報告書、第4期中期計画
10月	各クラブの状況報告、第4期中期計画、利用者アンケート等
1月	第4期中期計画
2月	職員によるプロジェクト等の報告、第4期中期計画 学童保育所保育指針の改定について

##### (3) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、第三者委員を含め苦情解決委員会を5月、11月に開催した。各クラブに寄せられた苦情内容を第三者委員へ報告し、検証を行った。

##### (4) 調査研究委員会・広報委員会

これまで、各保護者会の協力のもと、調査研究委員会・広報委員会を行ってきたが、検討・研究するべき課題を整理するため、2017年度に活動は行わなかった。

広報委員会の活動であった、広報紙「くれよん」の発行は職員を中心に行うことにした。

#### 5) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

	内 容
4月	地域子育て支援センターとの連携、労務管理、育成記録の書き方等
5月	各プロジェクト等の報告、ブロック会議について、非常勤研修
6月	施設長会議報告、2016年度モニタリング、夏期アルバイト
7月	定期点検、育成記録、市の交換研修、運営委員会の内容
9月	大規模化問題の報告書、保護者会懇談会・運営委員会の内容
10月	定期点検について、ブロック会議について、交換研修
11月	児童の降所チェック体制の統一について、第4期中期計画、入会申請書の配布・受取
12月	各クラブ事業計画・報告について、第4期中期計画
1月	おやつ代監査、保護者会懇談会・運営委員会の内容、児童の降所チェック体制の統一
2月	2018年度職員配置、各クラブ事業計画・報告、会議体について、「新たなまちとも」について
3月	2018年度職員のプロジェクト等、2018年度職員の役割分担

## 6) 職員会

### (1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に、施設責任者が運営を担当した。

	テーマ
4月	職員のプロジェクト等の活動について、法人が求める職員像について
10月	職員のプロジェクト等の活動報告、第4期中期計画、学習会「指導員の役割～子どもの権利を守るとは」
2月	職員のプロジェクト等の活動報告、第4期中期計画、2018年度職員配置

### (2) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、正規職員の職員教育および業務標準化を図った。

### (3) プロジェクト等、課題別の会議

#### ①ふちくれよんひろば

乳幼児と保護者を対象とした「ふちくれよんひろば」の企画、教材の整備、季刊紙「ふちくれだより」を発行した。

2017年度は地域子育て相談センターとの連携が図られ、広報活動の協力を得ることや、手遊びやわらべ唄等の学習会に参加した。

また、11～12月に利用者アンケートを実施した。

#### ②くれよんキッズ

高学年の居場所事業「くれよんキッズ」実施のため、夏休みおよび2018年度の春休みの企画を検討した。特に夏休みは高学年にふさわしい活動内容とするため、地区によっては子どもの意見を尊重した企画を実施した。

実施後は報告書を作成し、子ども・保護者の感想を掲載し、配布した。ま

た、くれよんキッズに携わる職員数が増えてきたことから、運用のためのマニュアルを作成した。

### ③保育指針

国が発行した「放課後児童クラブ運営指針」と、当法人の保育理念文書の一つである「学童保育所保育指針」との整合性を図るため、改定作業に向けた準備を行った。具体的には2018年度の調査研究委員会に向けて各文書の対比書を作成した。

### ④広報紙くれよん

職員が中心に広報紙くれよんを作成したことにより、法人の活動紹介（研修報告、防災対策）、各クラブの取材記事等、タイムリーな記事を掲載することができた。基本的に隔月で年6回発行した。

### ⑤財政問題

本部会計の財政を安定させるため、収益活動の一環として前年度に引き続き、YouTubeへ動画掲載を行った。7～11月にかけて「けん玉・コマ・お手玉」の動画を撮影し、12月に法人のホームページおよびYouTubeに掲載した。しかし、YouTubeの広告収入対象に関する条件が変更となり、収益活動にはつながらないことになった。

そのため、今後は親子で伝承遊びを楽しむことや職員相互の技の伝承を目的とし、動画の掲載を進めていく。

ふちくれよんひろば事業やくれよんキッズ事業にむいた助成金の申請にはいたらなかったため、次年度の課題とする。

## 2. 人財育成

### 1) 全国学童保育連絡協議会主催

日程	名称	場所	参加者
6月	全国学童保育指導員学校	大東文化大学（板橋キャンパス）	43名
10月	全国学童保育研究集会	神戸国際展示場、公募国際会議場、夙川学園短期大学等	14名

### 2) 児童青少年課主催 研修会

#### (1) 専門性向上のための研修会

日程	テーマ	場所	参加者
6月15日	学童クラブでの支援の必要な子どもへの具体的支援～身体障がい、弱視、聴覚障がいを中心として～	市役所	20名
9月11日	日常の中で起こるアレルギーとその特徴	市役所	11名
12月4日	障がいのある子どもの理解	中央クラブ	18名

(2) 情報交換を主な目的とした交流研修会

日 程	テーマ	場 所	参加者
10月12日	①保護者対応～保護者への支援～	市役所	5名
	②保護者対応～虐待の対応について～	市役所	3名
	③保育環境	森野クラブ	1名
	④外遊び	市役所	4名
10月20日	①食物アレルギー	市役所	2名
	②おやつ～提供方法～	市役所	2名
	③室内遊び	ころころクラブ	5名
	④職員会議	市役所	4名
12月1日	①配慮を必要とする子	市役所	2名
	②情報共有の仕方	市役所	4名
	③生活の流れ～宿題～	市役所	2名
	④防災・防犯	市役所	2名

(3) 交換交流研修

2017年度より、市からの提起により、市内43クラブの専門性の向上・交流を目的とした交換研修が実施された。

日 程	研修先
9月	南つくし野、高ヶ坂、木曽、山崎、なんなる、小山中央、相原たけの子
10月	竹ん子、桜の森、つるっこ、金森(2名)、鶴間ひまわり、木曽、小山ヶ丘、すまいる、中央、藤の台、小山田、みわっこ、山崎、野津田、小山中央、鶴川第四
11月	木曽境川

3) 職場内研修

(1) 初任者・常勤職員(有期雇用)研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
4月12日	個人情報保護	あおぞら	12名
5月26日	安全管理・危機管理	つくし野	13名
6月22日	子どもの発達①	函師	13名
7月3日	記録の取り方①	なかよし	13名
11月15日	子どもの発達②	函師	12名
2月1日	苦情対応	どろん子	9名
2月20日	保育理念	鶴川	11名

(2) 中堅者研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
5月26日	保護者との関わり方	けやき	14名
5月26日	苦情対応	どろん子	2名

7月3日	子育て支援	大蔵	14名
9月22日	保護者会支援	金井	2名
11月15日	虐待について	つくし野	13名
通年	記録の取り方と実践検討		21名

(3) 管理者研修

日程	テーマ	場所	参加者
2月26日	人事考課研修	なかよし	13名

(4) 非常勤職員研修

日程	内容	場所	参加者
6月30日	子どもの変化に気づく保育	ことばらんど	35名
11月24日	虐待について	ことばらんど	47名
2月21日	学童期における感染症と初期のケガ対応について	ことばらんど	68名

(5) 交換研修（クラブ間研修）

11～1月に5日間、保育実践交流を中心に法人内で交換研修を実施した。

所属	氏名	研修先
南大谷	駒井	金井
わんぱく	楠	南大谷
南大谷	小野(貴)	わんぱく
あおぞら	佐々木	どろん子
どろん子	二川	あおぞら

所属	氏名	研修先
図師	栗林	鶴川
鶴川	高橋	図師
なかよし	永松	大蔵
けやき	木下	事務局

(6) 課題図書

2017年度より、中堅者・管理者の職員に対し、課題図書を年間3冊設定した。中堅者は保育の専門性、管理者は施設運営のマネジメントに関する図書を中心に学習を行った。

(7) その他

正規全体会の時間帯を活用し、正規職員全員を対象に学習会を行った。

日程	テーマ	場所
9月14日	高学年の発達理解	図師
11月9日	指導員の役割 ～子どもの権利を守るとは～	そよかぜ

4) 資格取得（正規）

種別	氏名
放課後児童支援員	矢野、白水、渡邊、志村、高木、桐山、栗栖、猪股、老月、近藤、廣井、林、中山、釜崎、河西、石川(どろん子)、吉村、牧野、堀越、佐藤、北島、小野(貴)、常世田、本山(久)、佐山、石川(事務局)
普通救命救急	志村、高木、猪股、近藤、廣井、林、釜崎、石川(どろん子)、楠
上級救命救急講習	岡、石田
防火管理者(甲種)	志村、栗林、廣井、林、工藤、佐々木

### 5) 運営者協議会主催合同研修会

日程	内容	参加者	場所
2月8日	あなたならどうする？ 集団がワチャワチャ！	15名	ころころ児童館
2月8日	自己理解と他者理解 ～一人ひとりに寄り添うために～	9名	せりがや会館
2月19日	指定管理者制度	12名	せりがや会館

### 6) 東京都社会福祉協議会主催の研修

時期	研修名	参加者
9月12・13日	キャリアパス生涯研修過程 中堅者研修	鈴木、中谷
2月27・28日	福祉事業所のための研修体系確立	石田

### 7) 事務局研修

時期	研修名	参加者
8月	ファシリテーター養成講座	石川
9月	キャッチフレーズ作成講座	井上
10月	魅力的なチラシづくり講座	石川
10月	労働基準法等に関する基礎研修会	井上

### 8) その他

時期	研修名	主催	参加者
7月27日	①児童相談所の概要と役割 ②連絡会の概要と役割 ③保健予防課の概要と役割	町田市子育て支援 ネットワーク連絡会	本山(健)
8月20日 10月13日	喘息・食物アレルギー緊急時 対応研修(基礎知識編)	東京都福祉保健財団	猪股、佐藤、廣井、 藤平、志村、楠、林
11月20日	相談援助技術の基本	南地区子育て 相談センター	石田
12月5日	相談援助の基礎となる「情報 収集」「情報処理」を学ぶ	町田市子育て支援ネ ットワーク連絡会	三階
1月19日	子どもの貧困	子ども家庭支援 センター	阪下、小野寺、佐山
2月7日	児童館・学童クラブ職員として の子ども対応の胆 PART2	東京都児童館等 連絡協議会	横山、小野

## 3. 啓発活動

### 1) ニュース発行

#### (1) 広報紙「くれよん」の発行

法人の広報紙「くれよん」を隔月で1,450部発行した。主に法人の活動を紹介する



ことに重点をおき、くれよんキッズの活動や職員の研修の紹介、定期総会の様子等を掲載した。また、特集として学童保育に関する国の制度、保育参加、「なぜ？なに？保護者会」、各クラブ紹介等を掲載した。

(2) 「ぷちくれよんだより」の発行

「ぷちくれよんひろば」を利用する保護者にむけて、毎回の企画の紹介や、子育てに役に立つ情報を中心に「ぷちくれよんだより」を4回発行した。特集として、「離乳食の時期のおすすめレシピ」「冬に風邪が流行るのはなぜ？」や、利用者アンケート結果を掲載した。

2) ホームページの充実

法人ホームページは事務局にて管理を行ったが、適宜更新にならなかった。親子で伝承遊びを楽しむことや職員相互の技の伝承を目的の一つとし、「こま、けん玉、お手玉」の動画を掲載した。法人の情報発信の重要なツールとして、ホームページの適宜更新が課題である。

3) 「日本の学童ほいく」誌の普及

「日本の学童ほいく」誌は日本で唯一の学童保育に関する専門雑誌である。2017年度は66部（職員60、保護者2、団体4）の購読申込みがあったが、前年度比で7部減となった。

4. 子育て支援事業

1) ぷちくれよんひろば（乳幼児の子育て支援事業）

クラブ名	登録世帯数		年間延べ利用数		平均利用人数	
	2016年度	2017年度	幼児	保護者	企画日	開放日
金井	4	9	15	13	1.6	0.8
函師	2	9	19	19	2.6	0.8
そよかぜ	23	23	161	146	16.3	10
どろん子	5	24	66	55	6.8	3.9
南大谷	11	18	102	77	9.6	6.5
計	45	83	363	310		

地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくし、子育て支援ネットワークづくりに貢献することを目的に、「ぷちくれよんひろば」事業を5カ所で実施した。前年度に比べ、そよかぜクラブ以外の地域では利用が増加傾向にあった。地域子育て相談センターの「ひろばカレンダー」にぷちくれよんひろばの情報を掲載させていただく等、広報活動を中心に連携が図れた。

11～12月に実施した利用者アンケート（回答数19世帯）では、「ぷちくれよんひろばをどこで知ったか」の質問に対し、「友達に誘われて」が最も多く、次いで「法人が作成したチラシを見た」であった。また、利用目的として①遊び場②子ども同士の交流③親同士の交流をあげた家庭が多かった。

2017年度 利用者満足度調査

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	計
おもちゃ	56%	39%	5%	0%	0%	100%
企画内容	95%	5%	0%	0%	0%	100%
スタッフ	100%	0%	0%	0%	0%	100%
室内環境	90%	5%	0%	0%	5%	100%

2) 子どもの居場所事業 (くれよんキッズ)

学童保育を卒会した4年～6年生を対象に、春休み・夏休みに「くれよんキッズ」を7地区で実施した。春休みは中学1年生も対象とし、2名の参加があった。

夏休みには、地区によっては子ども達が主体的に「おまつり」「お化け屋敷」「ギネスに挑戦」等を企画し、地域の子どもや学童保育クラブの子ども達を招待する等、高学年が活躍することを意識した活動が行われた。今後も「高学年活動」のあり方を検証し、発展させていく。

春・夏ともに報告集を作成し、保護者および学校等に配布した。また、「くれよんキッズ」の活動の様子は、ホームページに掲載した。

(1) 春休み企画

高ヶ坂地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
けやき	5	0	2	1	8	/
南大谷	5	2	1	1	9	
計	10	2	3	2	17	

忠生・図師地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
図師	14	3	1	0	18	/
なかよし	5	2	0	0	7	
計	19	5	1	0	25	

成瀬地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
そよかぜ	4	1	0	0	5	/
あおぞら	5	2	0	0	7	
計	9	3	0	0	12	

鶴川地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
鶴川	6	1	1	0	8	/
大蔵	5	5	2	0	12	
金井	3	6	1	0	10	
計	14	12	4	0	30	

南地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
どろん子	1	0	0	0	1	/
つくし野	4	2	0	0	6	
わんぱく	3	0	1	0	4	
計	8	2	1	0	11	

相原地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
のびっ子	2	2	2	0	6	0

	4年	5年	6年	中1	計	前年度
総計	62	26	11	2	101	108

(2) 夏休み企画

高ヶ坂地区	4年	5年	6年	計	前年度
けやき	3	0	0	3	/
南大谷	6	3	2	11	
計	9	3	2	14	

忠生・図師地区	4年	5年	6年	計	前年度
図師	14	3	3	20	/
なかよし	7	2	2	11	
計	21	5	5	31	

成瀬地区	4年	5年	6年	計	前年度
そよかぜ	6	1	0	7	/
あおぞら	8	2	0	10	
計	14	3	0	17	

鶴川地区	4年	5年	6年	計	前年度
鶴川	6	3	2	11	/
大蔵	14	7	2	23	
金井	6	6	2	14	
計	26	16	6	48	

南地区	4年	5年	6年	計	前年度
どろん子	0	2	0	2	/
つくし野	7	1	0	8	
わんぱく	4	0	0	4	
計	11	3	0	14	

相原地区	4年	5年	6年	計	前年度
のびっ子	3	1	3	7	7

	4年	5年	6年	計	前年度
総計	84	31	16	131	118

### 夏休み 地区別 利用状況

	相原	鶴川	忠生	南	高ヶ坂	成瀬
申込(登録)	7	48	31	14	14	17
のべ人	13	170	55	57	48	49
平均人	3.3	17.0	6.8	5.7	4.8	8.1
開催日数	4	10	8	10	10	6
利用率	46%	35%	22%	41%	34%	48%

## 5. 保護者会活動への支援

### 1) 各保護者会と法人との懇談会

各クラブ保護者会相互の交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を深めるため懇談会を定期的で開催した。保護者会の通帳の管理方法や、役員や実行委員会の選出方法等、各クラブで工夫していることや悩み等を交流した。

	内 容
7月	保護者会の会計、ソフトボール実行委員会、各クラブキャンプについて
10月	保護者会活動について、各クラブの周年行事
2月	役員・実行委員会の引継ぎ方法、保護者会費、おやつ代集金方法

### 2) 保護者会交流行事

毎年実施しているソフトボール大会は、実行委員会が中心となり準備を進めたが、雨天中止となった。

## 6. 関係団体・機関との連携

### 1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 地域子育て支援ネットワーク連絡会に施設責任者が参加し、学校や保育園、民生児童委員等と、児童虐待防止および子育て支援に関する情報交換を行った。児童に関する具体的な支援に関して、子ども家庭支援センターおよび児童相談所と連携した。
- (3) 「特別支援学校連絡協議会」に参加し、特別な支援を必要とする児童の保育に関し、連携を図った。

### 2) 学童保育に関する団体との連携

- (1) 学童保育に関する課題が生じた際、「町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会」(父母連協)との連携を図っているが、2017年度は特に課題がなかった。
- (2) 6月に行われる「町田市学童保育を考える会」の総会、および9月開催の町田学童まつりへ参加した。

### 3) 他の学童保育事業を行う法人との連携

- (1) 町田市学童保育運営者協議会

市内で学童保育を運営する他の法人と定期的に情報交換を行った。特に10月以降は、

運営者協議会主催の合同研修会の実施にむけて協力を行った。初任者・中堅者・管理者むけの階層別研修としたことで、その階層として必要とされる業務のスキルアップや、問題意識を共有化することができた。

(2) 町田市社会福祉協議会（社協）

社協が主催する児童の絵画展の選考委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者と情報交換を行った。

## 7. 学童保育の充実にむけた運動の支援

町田の学童保育を充実させるために、諸課題に対し運動の支援を行うことを方針としているが、2017年度は具体的な活動を行っていない。

## 8. 会員拡大

法人の趣旨・理念に賛同する会員を増やすため、これまで会員であった方や、くれよんキッズを利用する卒会生の保護者等に継続して会員になっていただく呼びかけを行った。

2017年度に初めての試みとして、「ぶちくれよんひろば」に参加している利用者の賛助会員の呼びかけをしたところ、1名の方から申込みがあった。

(2017年4月1日～2018年3月31日)

区分		2016年度	2017年度
正会員	団体会員	13	13
	個人会員	81	79
賛助会員	個人会員	81	74
計		175	166

## 9. 事業拡大

当法人は、「子どもは地域の中で見守られながら育つ」「地域の中で子育て支援のネットワークづくりに貢献する」といった考え方を大切にしている。学童保育事業を中核としながらも、地域の子ども達を視野に入れた事業展開を目指しているが、2017年度は具体的な活動を行っていない。

5月に南大谷学童保育クラブの指定管理者の公募があり、申請書を提出した。9月市議会で当法人が指定され、2018年度より3年間運営をすることが決定した。

また、2017年度は第3期中期計画の最終年度になるため、1年かけて事務局を中心に第4期中期計画を作成した。作成にあたり、職員より第3期中期計画の進捗状況や第4期中期計画に取り入れるべき内容について意見を募った。また、法人役員も参加する運営委員会第4期中期計画の課題について議論を重ね、共通認識を図った。

## 10. その他

### 1) 震災 支援金活動

東日本大震災および熊本地震で被害にあった学童保育を支援するため、各保護者会の協

力のもと、支援金活動を行った。全国学童保育連絡協議会へ約 40 万円を送金した。

## 2) 「まちカフェ！」への参加

12 月に行われた第 11 回市民協働フェスティバルに理事および事務局が中心となり参加した。実行委員会に参加することで、市内の様々なボランティア団体との情報交換を行うことができた。子どもの遊びコーナーを企画し、多くの子ども達とふれあうことができた。

## 3) 大学訪問等

人材確保のため、事務局より近隣大学（和光大学、玉川学園大学）への訪問を行った。また、3 月には東京女子体育大学の懇談会に出席した。

# II. 学童保育事業

## 1. 事業展開 (各クラブ事業報告書：別紙参照)

9 月に発表された、2016 年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果（モニタリング）」において、町田市の定める職員の配置基準を守られていない、市への報告書類の提出が遅れる等の指摘があったため、事務局より検証および指導を行った。

11 月に、町田市の財務モニタリングが行われた。2017 年度の会計・経理状況について事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。また、町田市の定める職員の配置基準に基づき、適正な配置を守るよう努めた。

2017 年 2 月より行われた町田市の財政援助団体等監査（対象：大蔵クラブ）は、4 月以降も継続して行われた。経理および施設の管理運営における業務執行状況について、監査が行われたが、特に指摘事項はなかった。

## 2. 苦情解決

当法人の苦情解決制度は原則として利用者を対象としているが、近隣地域からの苦情にも対応を行っている。

苦情内容は、5 月・11 月に開催した苦情解決委員会にて第三者委員に報告、および町田市に報告書を提出した。

なお、寄せられたご意見・要望の総数に対する

苦情の割合は、上記の通りであった。特に、職員の対応に関する不満のうち、15 件が児童の降所に関する職員ミスであった。

苦情内容	2016年度	2017年度
職員の対応に関する不満	35	38
近隣からの苦情	3	3
その他	0	0
計	38	41

	上半期	下半期	合計
意見等	171	102	273
苦情の割合	20.5%	5.9%	15.0%

### 3. 事故防止

#### 1) 事故件数 (医療機関にかかった場合)

	児童				職員	児童のケガ	
	傷 害		賠 償			保育中	登下校中
	2016年度	2017年度	2016年度	2017年度			
大蔵	13	5	0	0	0	3	2
大戸のびっ子	2	1	0	0	0	0	1
金井	6	0	0	0	2	0	0
高ヶ坂けやき	3	1	0	0	0	1	0
図師	5	2	1	0	0	2	0
そよかせ	5	5	0	0	1	5	0
つくし野	3	5	0	0	1	5	0
鶴川	3	4	0	0	0	3	1
どろん子	3	6	0	0	0	5	1
なかよし	7	3	0	0	0	3	0
成瀬中央あおぞら	0	7	0	0	0	7	0
南大谷	4	5	0	0	0	5	0
わんぱく	7	4	0	0	3	3	1
計	61	48	1	0	7	42	6

事故件数が多かった 2016 年度と比較してやや減少傾向となった。保育中のケガの大半は切り傷・擦り傷、捻挫・打撲であるが、骨折は 6 件あった。全クラブでの対策を強化するため、事故の内容を検証・分析を行うことが今後の課題である。

#### 2) おやつ提供時の管理

##### (1) 食物アレルギー対策

マニュアルおよびチェックリストに基づき、全クラブにて毎日のおやつ提供時にアレルギー対策を行った。日々の作業や対応における「ヒヤリ・ハット事例」については、毎月のブロック会議にて報告し、全クラブにて共有化を行った。また、初任者を中心に食物アレルギーに関する講習会に参加し、知識および対応方法等を習得した。

##### (2) 食品の賞味期限の管理

2017 年度に職員の不注意により 1 件の提供があった。再度、複数の職員によるチェック体制を強化することを徹底した。

#### 3) 児童の降所に関する管理

児童の降所に関する職員のミスが多く、苦情となるケースも多かった。2017 年度の上半期の事例を集計・分析したところ、職員が伝達を忘れる、電話等の内容を書類に記入し忘れる、名前や時間・降所方法の変更内容の聞き間違い等によるものが多かった。また、17 時前後の時間帯にミスが集中していることもわかった。再発防止のため、全クラブ統一の管理方法を作成した。今後も検証をすすめ、事故防止を徹底していく。

### 4. 利用者アンケート

7月に行った利用者アンケートで、全体的に評価が高いのは、「子どもが満足して帰宅している」「安全指導」「季節感のある

全世帯数	回答数	全クラブ平均
1023	804	78.7%
	前年度	79.7%

取り組み」「発熱やケガなどの処置」「指導員の態度・対応・姿勢・知識」等であった。

クラブにより若干の差があるものの評価がやや低かった項目は、「施設の安全・防犯対策」「子育て相談」「おやつ」等に関する内容であった。

また、「職員の態度・対応」に対する満足感は全体的に高いにも関わらず、「職員に話しかけづらい」「職員が怖い・冷たい感じがする」といった指摘もみられる。今後こうした指摘に対しては、職員教育を徹底していく。

日常のイベントや行事に関する評価は概ね高いため、内容に関しては比較的満足が得られている。一方で保護者会活動および保護者相互の交流に関する項目では、負担を感じるとの声もあるため、保護者会と連携し見直しをする。

分析結果をもとに各クラブで業務改善に取り組み、その結果を保護者へ配布した。回収率に関しては、前年度と比べて向上したが、13クラブで71.2%～82.5%と差があるため、今後とも向上に努める。

## 5. 保育参加

第3期中期計画に基づき、全クラブにて「保育参加」を実施した。保護者が保育に参加することにより、学童保育クラブへの理解を深め、「我が子と我が子達」の生活を知る機会となった。参加した方の感想は概ね好評であった。

### 2017年度「保育参加」のべ人数

大蔵	2	そよかぜ	4	あおぞら	9
のびっ子	10	つくし野	2	南大谷	9
金井	9	鶴川	1	わんぱく	4
けやき	13	どろん子	5		
図師	11	なかよし	21	計	100

## 6. その他

### 1) 巡回指導・定期点検

保育の質向上のため、マネージャーが定期的に全クラブを巡回し、保育見学および職員との面談を行った。必要な場合は把握した内容を人事委員会に報告した。学期に1回、各クラブの定期点検を行い、個人情報 の適正な管理、衛生管理、文書管理方法、整理整頓、火災事故防止に関する指導を行った。また、おやつ代の監査を年間通して行った。

### 2) 職員のメンタルヘルス

職員の安全衛生を推進するため、セルフチェックを年2回実施した。また、7月に新規採用の職員にむけた講習を実施した。5月に管理者にむけた「働く人の健康づくり」をテーマにしたラインケア研修に参加した。

### 3) 通所支援事業

都立町田の丘学園に通う児童のうち、通所支援事業（学校のバス停から学童保育クラブまでの職員によるお迎え）の利用者は、4クラブ4名であった。

### Ⅲ. 児童数と職員体制

#### 1. 児童数および職員配置 (4月1日時点)

クラブ名	支援の 単位数	職員			児童数			
		正規	常勤(有 期雇用)	非常勤	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	4	4	2	3	133	6	20	119
大戸のびっ子	1	3	0	0	28	2	12	18
金井	3	3	0	5	88	3	24	67
高ヶ坂けやき	2	3	1	1	63	5	15	53
図師	3	3	2	2	109	7	20	96
そよかぜ	2	3	0	1	52	4	6	50
つくし野	2	3	0	1	62	5	5	62
鶴川	3	3	1	2	93	3	8	88
どろん子	3	3	2	6	110	5	17	98
なかよし	3	3	2	4	118	11	24	105
成瀬中央あおぞら	1	3	1	0	43	7	9	41
南大谷	3	4	1	4	113	14	25	102
わんぱく	2	3	1	1	71	5	14	62
事務局		4	0	0				
計	32	45	13	30	1,083	77	199	961

#### 2. 人事

##### 1) 採用

	雇用形態	所属	人数
4月1日	正規職員	大蔵	1名
		のびっ子	1名
		金井	1名
		図師	1名
		そよかぜ	1名
		つくし野	1名
		どろん子	1名
		あおぞら	1名
		南大谷	2名
	常勤職員(有期)	南大谷	1名
4月1日	非常勤職員	大蔵	1名
		金井	1名
		けやき	1名
		どろん子	1名
5月15日	常勤職員(有期)	どろん子	1名
6月1日	常勤職員(有期)	大蔵	1名
6月12日	非常勤職員	事務局	1名
6月19日	非常勤職員	鶴川	1名
7月21日	非常勤職員	大蔵	1名

	雇用形態	所属	人数
7月21日	非常勤職員	つくし野	1名
	非常勤職員	あおぞら	1名
7月22日	非常勤職員	金井	1名
8月1日	非常勤職員	のびっ子	1名
		金井	5名
		けやき	1名
		図師	3名
		そよかぜ	2名
		つくし野	1名
		どろん子	1名
		なかよし	2名
8月3日	非常勤職員	大蔵	1名
8月14日	非常勤職員	大蔵	1名
9月25日	非常勤職員	けやき	1名
10月13日	非常勤職員	けやき	1名
1月19日	非常勤職員	のびっ子	1名
2月1日	非常勤職員	大蔵	1名
3月6日	非常勤職員	大蔵	1名

他、夏期アルバイト32名



## 2) 退職

	雇用形態	所 属	人数
4月24日	非常勤職員	金井	1名
4月28日	非常勤職員	南大谷	1名
4月30日	正規職員	事務局	1名
5月10日	非常勤職員	なかよし	1名
5月31日	正規職員	大蔵	1名
	非常勤職員	けやき	1名
7月31日	正規職員	なかよし	1名
8月31日	非常勤職員	そよかぜ	1名
9月30日	非常勤職員	なかよし	1名
		大蔵	1名
10月11日	非常勤職員	なかよし	1名
10月13日	非常勤職員	けやき	1名
11月30日	正規職員	のびっ子	1名
12月15日	非常勤職員	けやき	1名
12月31日	常勤職員(有期)	大蔵	1名
	非常勤職員	どろん子	1名
1月15日	正規職員	鶴川	1名
1月31日	非常勤職員	のびっ子	1名
		金井	1名

	雇用形態	所 属	人数
2月28日	非常勤職員	鶴川	1名
3月5日	非常勤職員	図師	1名
3月12日	非常勤職員	金井	1名
3月19日	非常勤職員	大蔵	1名
3月20日	非常勤職員	のびっ子	1名
3月22日	非常勤職員	図師	1名
3月28日	非常勤職員	大蔵	1名
3月30日	非常勤職員	大蔵	1名
3月31日	正規職員	大蔵	1名
		金井	1名
		あおぞら	1名
		南大谷	1名
	常勤職員(有期)	図師	1名
		なかよし	1名
	非常勤職員	金井	6名
		鶴川	1名
		なかよし	1名
		南大谷	1名
		わんぱく	1名

## 3) 異動

	雇用形態	所属・役職	異動内容
4月1日	正規職員	けやき責任者	金井クラブより
		そよかぜ責任者	責任者へ昇任
		つくし野責任者	けやきクラブより
		あおぞら責任者	そよかぜクラブより
		けやき	なかよしクラブより
		鶴川	あおぞらクラブより
		なかよし	どろん子クラブより
		なかよし	つくし野クラブより
	常勤職員(有期)	どろん子	なかよしクラブより
		なかよし	図師クラブより
	非常勤職員	金井	なかよしクラブより
11月20日	正規職員	なかよし	金井クラブより
1月15日	正規職員	鶴川	なかよしクラブより